

noon
stereoscopic camera

立体映像が簡単に撮影できる
二眼式ステレオカメラ



ロボット視覚機能として



水中ステレオカメラ

(※開発中)

LHMA(レンズ水平移動軸)搭載

noon Stereo Camera

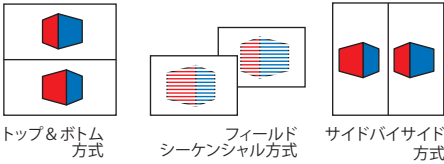
ヌーンステレオカメラ

ヌーンステレオカメラは先進技術を使用した二眼式ステレオカメラです。人間の目で捉えるのと同様の自然な立体映像を撮影できます(2Dカメラとしても使用可能)。また、LHMA(レンズ水平移動軸)機能を備えているため、フォーカス及び輻輳(寄り目)を設定することができます。このフォーカス及び輻輳機能がヌーンステレオカメラ最大の特徴で、被写体の距離に関わらず、また、目の疲れ、頭痛、吐き気、映像の歪み、空間の歪みなどの視覚ストレスを感じることなく、きれいな立体映像を撮影することができます。

ヌーンステレオカメラは、被写体間の距離情報及び奥行きをリアルタイムで測ることができる(*1)ので、ロボティクス分野、例えば、危険地帯や危険物処理時の遠隔操作機器のビジョンシステムとして使用でき、また、医療、保安分野でも使用可能です。
(*1) 現在、開発中

多彩なステレオフォーマットで出力

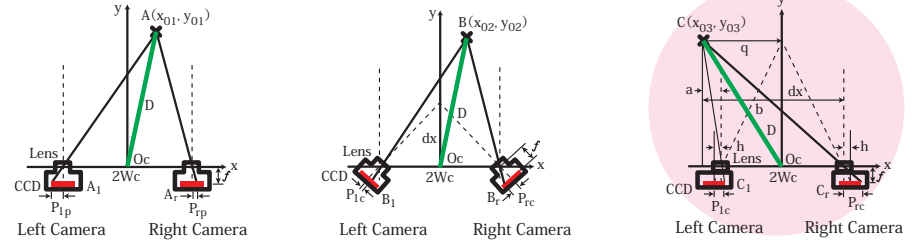
ヌーンステレオカメラのモード切替スイッチにて、多彩なステレオフォーマットで出力可能です。RCA映像端子で以下の3種類を出力可能。



さらに、黄色のRCA映像端子で左カメラ、グレーのRCA映像端子で右カメラの映像を別々に出力するセパレートモードを搭載しています。

n00nだけの自然な立体映像

両眼式LHMA(レンズ水平移動軸)方式は特許出願中の技術で、既存の立体視装置が利用している水平軸式や輻輳式とは異なり、人間視覚機能を忠実に模倣し人間の瞳孔の動きを再現した、ロボット等の各種産業、研究及び医療に適した立体カメラです。

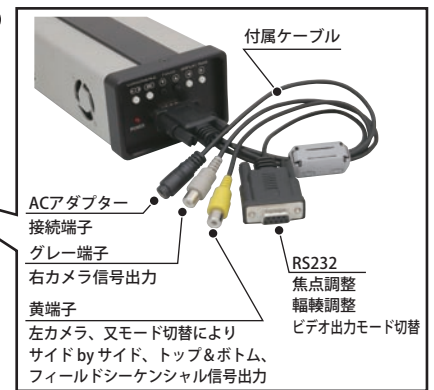


- 水平式: 遠距離撮影可・近距離不可
- 輻輳式: 遠・近距離撮影可・画質劣る
- レンズ水平移動式 n00nカメラ: 遠・近距離撮影可、近距離撮影時も背景立体画質良

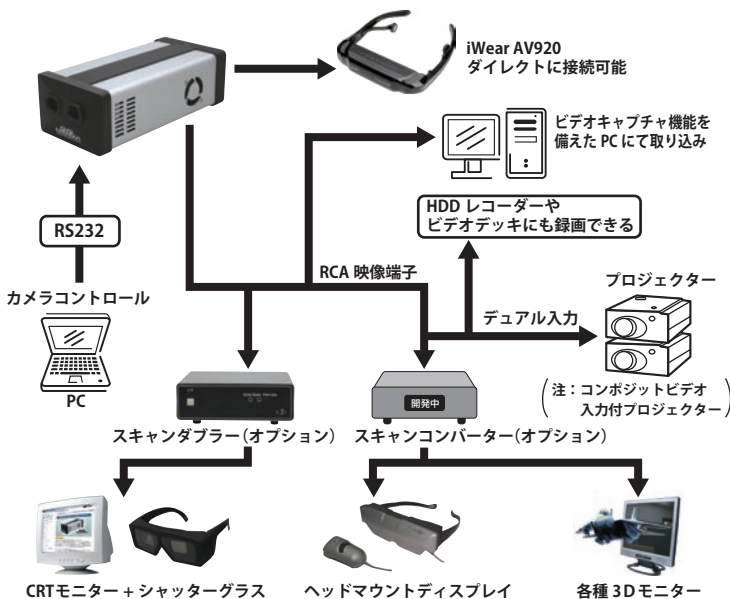
●接続例

- スキャンコンバータを使えばHMDでの立体映像の視聴を可能にします。
- スキャンダブラーを使えばCRTモニターでの立体映像の視聴を可能にします。
- フィールドシーケンシャル対応のビデオコンポジット入力HMDを使えば、ダイレクトに接続して立体映像の視聴が可能です。(iWear AV920)
- RS232で遠隔からカメラのフォーカス、輻輳、ビデオ出力モード切替を制御できます。

ヌーンカメラ各部の名称及び機能



●システムチャート



●製品仕様

モデル名	VN-R1128	VN-R1160
2D/3D	選択可能	
立体撮像方式	レンズ水平移動軸方式(LHMA)	
フォーカス・輻輳機能	リモート操作及び手動操作で可能	
センサーレンズ	1/3 CCDカメラ	
カメラ画角	50.3°(H)×38.5°(V)	
レンズ間隔	28mm	60mm
立体映像獲得距離	10cm~8m	25cm~12m
映像信号	NTSC	
映像出力	コンポジット(RCA端子)左右計2端子 3D:フィールドシーケンシャル、サイドバイサイド、トップ&ボトム セパレート(2D):右カメラ映像(グレー端子)・左カメラ映像(黄端子)	
有効画素数	720(H)×480(V)×2	
インターフェース	RS232	
電圧	DC12V/2A	
消費電力	5W	
カメラサイズ・重量	W:84×H:56×D:177(mm) 重量:660g	W:94×H:56×D:177(mm) 重量:710g
動作温度/湿度	-20~70度/95%以下	
最小照度	1.0LUX	